

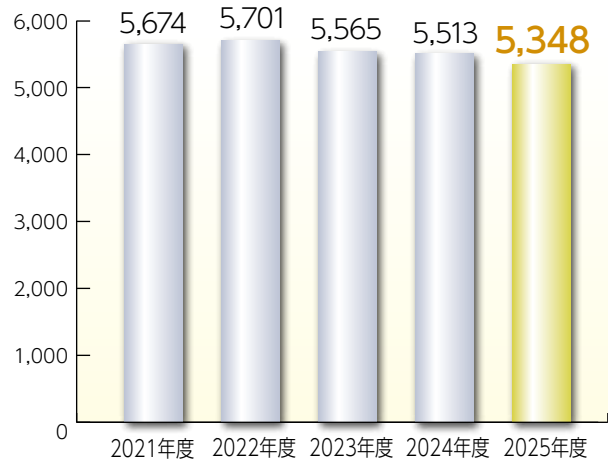
2025 年度の事業概要

2025 年度は新たに中期経営計画『～地域のすべての人の幸せと発展のために～』を策定しスタートさせており、目指すべき経営ビジョンを“確固たる経営基盤のもと、職員をはじめとしたすべての人のため、地域の持続的な発展と成長を築く”とし、この経営ビジョンを踏まえ、「経営基盤の確立・充実」「人的基盤の確立・充実」「地域基盤の確立・充実」の 3 つを重点施策として取り組みました。

預 金 ・ 積 金

地道できめ細かな営業活動、ボーナス預金や定期積金、年金受給口座の募集を行いました。預金残高は対前期末比 165 億円減少しました。

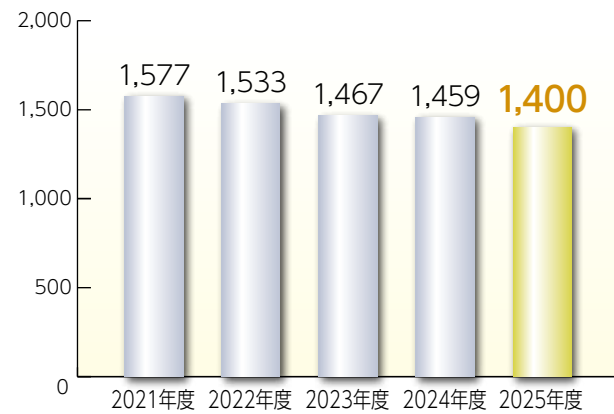
▶ 預金残高の推移 (単位：億円)



貸 出 金

事業者の皆さまには様々なニーズにお応えした融資商品の提供と資金繰り支援に積極的に取組み、個人の皆さまにはライフステージに応じた各種ローン商品の提供に取組みました。不安定な経済情勢の中において資金需要は低調で、貸出金残高は対前期末比 58 億円減少しました。

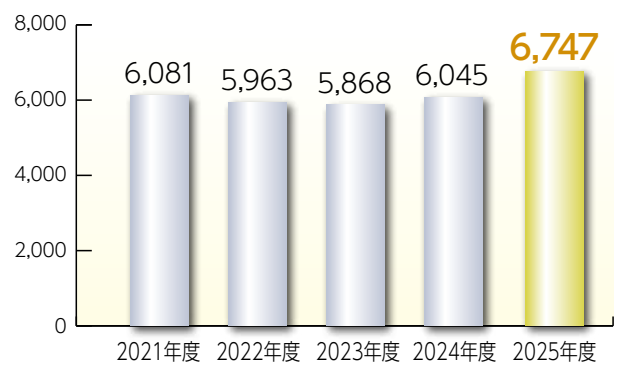
▶ 貸出金残高の推移 (単位：億円)



損 益

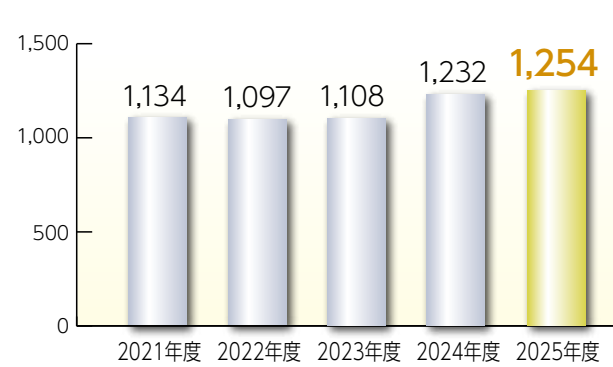
貸出金をはじめ資金運用利回りは、日銀の政策金利が引上げされたことを受け、貸出金利息や預け金利息は増加しました。預金利息の増加や個別貸倒引当金繰入額の増加もありましたが、1,254 百万円の当期純利益を計上することができました。

▶ 経常収益の推移 (単位：百万円)



貸出金利息や有価証券利息配当金等の増加により、経常収益は増加となりました。

▶ 当期純利益の推移 (単位：百万円)

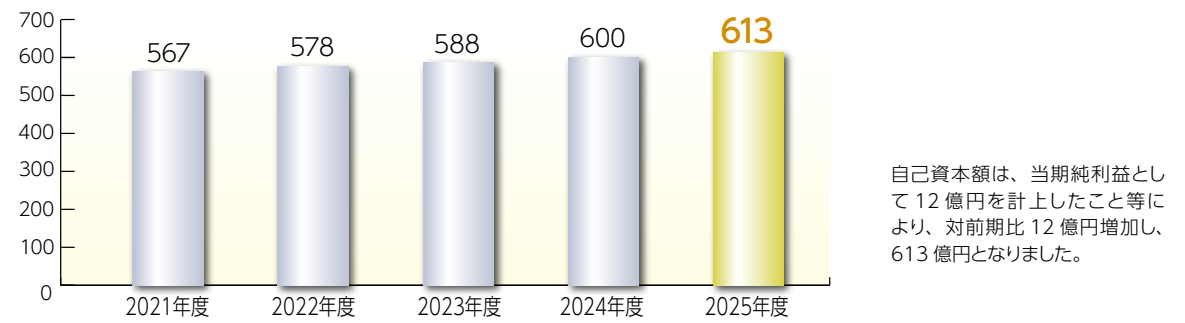


厳しい収益環境のなかではありましたが、経費節減等の取組みもあり、1,254 百万円の当期純利益を計上することができました。

自 己 資 本

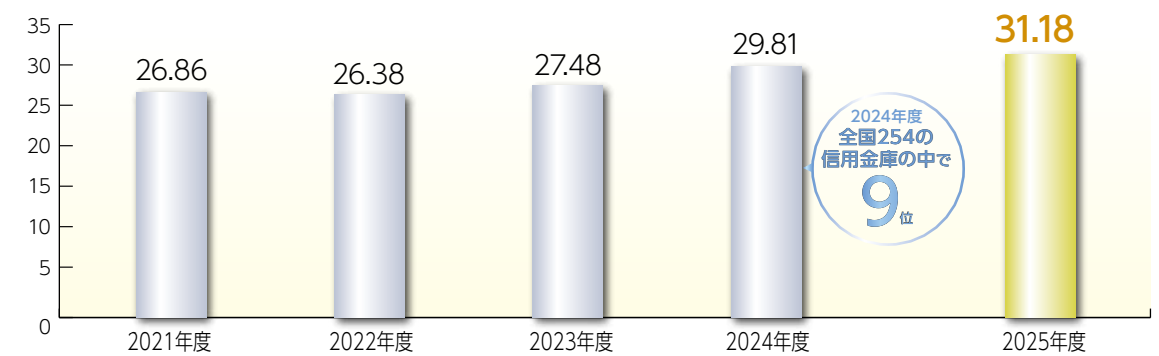
当金庫の健全性・安全性は引き続き高い水準を堅持しており、お客様からの普通出資金や内部留保の蓄積により自己資本比率は 31.18%となりました。今後も、堅実経営を基本として、一層強固な財務体質の構築を目指してまいります。

▶ 自己資本額の推移 (単位：億円)



自己資本額は、当期純利益として 12 億円を計上したこと等により、対前期比 12 億円増加し、613 億円となりました。

▶ 自己資本比率の推移 (単位：%)



自己資本比率は金融機関の健全性を示す重要な指標のひとつで、国内金融機関は4%以上が求められていますが、当金庫は基準を大きく上っており高い水準の健全性を維持しています。

主な経営指標の推移

(単位：百万円 %)

		2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
利 益	経常収益	6,081	5,963	5,868	6,045	6,747
	経常利益	1,596	1,538	1,573	1,726	1,739
	当期純利益	1,134	1,097	1,108	1,232	1,254
残 高	出資総額	1,164	1,162	1,157	1,158	1,154
	出資総口数 (千口)	2,329	2,325	2,315	2,316	2,309
	純資産額	56,277	51,412	50,393	44,078	39,043
	総資産額	674,098	627,861	612,898	600,397	578,239
	預金積金残高	567,407	570,184	556,579	551,372	534,868
	貸出金残高	157,765	153,372	146,738	145,940	140,042
有価証券残高		230,196	221,430	220,600	220,930	213,989
単体自己資本比率		26.86	26.38	27.48	29.81	31.18
出資配当率		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
出資 1 口当たりの配当金 (円)		20	20	20	20	20
役員数 (人)		14	14	14	14	14
	うち常勤役員数 (人)	9	9	9	9	9
職員数 (人)		315	297	277	248	237
会員数 (人)		32,462	32,268	31,963	31,749	31,490

(注) 総資産には債務保証見返勘定を含んでいます。